

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 ( 藤井 嘉彦 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.7 億円
		通常砂防事業 おおよぶ 大藪川		内用地補償費	0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父市大藪 おおよぶ			H20	H20	H23
事業目的			事業内容		
土石流対策 ・当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、市道及び災害時の指定避難所である大藪公民館を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 14.5m, L = 49.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大藪川は土石流危険溪流である。</li> <li>・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、流域内も広範囲に荒廃している。土石流対策としては、既設えん堤があるが規模が小さく、整備率は低い水準にある。</li> <li>・保全対象は、人家85戸、市道、大藪公民館(避難所)などがある。</li> <li>・地元の土砂災害に対する認識度が高く、事業化への要望が強い。</li> <li>・平成20年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人命・財産(人家85戸)、市道、大藪公民館(避難所)を保全し、事業実施による投資効果は大きい。</li> </ul>				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元からの要望が強く、市の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当溪流は土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。</li> <li>・土石流危険区域には人家85戸、市道、大藪公民館(避難所)がある。</li> <li>・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高まっているため、大藪地区の人命・財産等を保全する早急な対策が必要である。</li> </ul>				

おおやぶがわ  
大 藪 川  
[ 養 父 市 ]

計 画 概 略 図  
縮 尺 1 : 12,000



流域面積A=1.26km<sup>2</sup>

凡 例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等

えん堤工

大藪公民館(避)

